



校長室より



令和7年11月17日

自分らしく生きる 豊かに生きる

No.29

高等部2ブロック2年生が広島に修学旅行へ

11月12日（水）から14日（金）まで、高等部2ブロック2年生が広島に修学旅行に行ってきました。ここ数年は東京方面への修学旅行が続いていましたが、広島方面に向かうのは久しぶりになります。高等部2年生は、この修学旅行に向き合い、楽しみを見出した生徒もいますし、よく考えて無理をしないことを決めた生徒もいました。常に不安と戸惑いが隣りあわせの生徒たちですが、参加メンバーが集合・合流に間に合ったときはまずは第一関門突破という気持ちでした。

広島県には、「原爆ドーム」と「厳島神社」の2つの世界遺産があります。修学旅行でもこの2つの場所がメインとなります。初日は、平和記念公園です。広島駅に降り立った旅行団は、広島駅に乗り入れするようになった広島電鉄に乗りし、1日目のホテルと平和記念公園のある中心街を目指しました。

昼食後、平和記念公園では、二つの班に分かれ、原爆ドームなど公園内を見学しました。この時にガイドをしてくれた一人が、夏休みの平和学習に広島被爆体験伝承者としてみはま支援学校まで来てくださった渡部さんでした。現地でも、公園内の見どころとその意味を紹介していただきました。生徒たちも真剣に話を聞き入っていました。しっかり学習がつながっていますね。石室に刻まれた「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」という言葉、忘れないようにしたいです。



2日目は、フェリーで宮島を目指しました。厳島神社の紅の大鳥居が徐々に大きく見えてくるのは感動です。宮島では、まず、もみじ饅頭の手焼き体験に挑戦。全員、きれいなもみじ饅頭を完成させていました。その後は、朱塗りの社殿厳島神社内を見学しました。班別行動では、商店街で食べ歩きを楽しんだり、紅葉谷公園やロープウェーまで足をのばしたりした生徒もいました。



3日目になると生徒たちにも疲れた様子が見られましたが、広島駅などでゆっくり買い物をして、帰る新幹線の時間を待っている間に、帰路に向かう力をたくわえてくれました。三日間、天気にも恵まれ、思い出をつくって、元気に御坊駅へ帰ってこられたことが何よりでした。この体験を自信として、今後の生活に生かしてほしいと思います。